

# 平成21年度の事業報告書

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

## 第六期事業報告書

### I 事業期間

平成21年4月1日～平成22年3月31日

### II 事業の成果

第六期の当法人の活動は、社会の状況が大きく変化するなかで関心をもたれ各地で事例報告に招かれ、また多くの方の来訪がありました。昨年度にくらべ、当法人の活動にたいしアート関係者の興味関心が高まったと感じています。海外をはじめ全国の人々が訪れ、大阪市立大学やブリティッシュ・カウンシルとの協働事業、津田塾大学や明治学院大学などの大阪スタディツアーをコーディネートするなど、他分野にまたがるネットワークの形成を広げ、先駆的な取り組みを行ないました。

今年度のトピックとしては、六月に「インフォショップ・カフェ ココルーム」の向かいに「カマン！メディアセンター」（助成：トヨタ財団）をオープンしたことがあげられます。2010年1月に開催したシンポジウム「アートの力を信じる」には300名ほどの参加者が全国から集いました。これらはメディアの注目をあつめ、釜ヶ崎、そしてココルームを訪れる人が増えました。

メディアセンターは大げさな名称のわりには、ささやかなスペースなのですが、地域内外の人々が立ち寄る縁側のような機能を果たし、人々のつながりと表現の機会を創出し、自主的な公共空間をうみだしています。大阪市立大学との協働がさらに深まり、カマン！メディアセンターは大阪市立大学 都市研究プラザの西成プラザの位置づけとなっています。

インフォショップ・カフェ ココルームと、カマン！メディアセンターというふたつの空間をもったことにより、空間的、物理的、人的に精度をあげ、より地域に密着した活動となり、地域外の人たちをつなぐハブ的な機能を深めることができました。釜ヶ崎地域をはじめて訪れる人にまちを案内したり、ボランティア活動に興味のある人には他団体を紹介したり、地域内で問題を抱える人たちが訪れたさいには相談機関を紹介する橋渡しの役割など、公益性の高い活動を担保しています。これまで果たしてきた活動や地域の窓口機能が商店街の理解を得るようになり、商店街との連携事業も増えてきました。

生活保護受給者と高齢者問題へのアートのアプローチとして評価の高い「むすびプロジェクト」は、ブリティッシュ・カウンシルとの協働により、イギリスのストリートワイズ・オペラ（ホームレスの人たちにオペラのワークショップと公演の機会を提供する団体）を招き、ワークショップをひらき、あたらしい作品作りを行ないました。その成果は当法人の企画によって、「水都大阪2009」で発表し、おおきな感動をよびました。

大阪市の公募により、当法人が企画した“コミュニティアート”を検証する「OCA!(大阪コミュニティアート)」が採択されました。「子どもの里」「山王こどもセンター」へのワークショップを定期的に行い、アートマネージャーやファシリテーターの育成につとめました。地域にオープンな拠点

をもっていることから、そこに集う地域の高齢者や労働者がワークショップに参加するようになり、講師やスタッフのケアも得ることによって地域資源の醸成と活性化がすすみました。さらに集大成として、芦原橋のヒューマインドの体育室でシンポジウム「アートの力を信じる」を開催し、全国から300名の来場者と80名のスタッフ、ボランティアが集いました。詩人の谷川俊太郎氏を釜ヶ崎に招き、詩作をおねがいし、シンポジウムで発表、また著作権を移譲いただきました。NYから音楽家の小沢健二氏のスカイプ出演、イギリスからもストリートワイズ・オペラのマット・ピーコック氏もスカイプ出演など、長時間におよぶシンポジウムでしたが、非常に質の高いものとなりました。

地域の人たちに聴き取りから作品化を行う「こころのたねとして」は、全国でワークショップなどをおこなってきました。明治学院大学と東京の白金地区との協働で「こころのたねとしてin白金」が開催され、当法人からはアートディレクターを派遣。記憶と今、人々をつなぐこのメソッドは「場所の力」をよびおこし、人々の出会い直しの機会となり、ますます可能性を感じています。

障がいを持つ人とアーティスト、市民とともに取り組む「ちんどんチャンス！」については、助成金は得られませんでした。スタッフとアーティストの協力により活動を継続しています。

2008年12月から月に一回、地域内の野宿者のかたに「山王ミニ夜回り」は、ラッシュ・ジャパンからのサポートも得られ、現在も地域の人、遠方から来た人たちとともにアートの工夫をもった夜回りを行っています。野宿のかたの人数は減っているのですが、地域には多様な関わりの仕掛けが必要であると感じるため、継続しています。

今年度も、アートと社会をむすぶ包摂的モデルとしての場作りを行い、分断された個人や閉塞化した共同体を「アート」という手法でエンパワメントし、網の目のつながりを構築しました。そのさいアートはつなぎ役、媒介の役目を果たし、表現のもつ自律性によって互いの関係性を自在に組み替え、関わりあうことができます。「新しい公共」という言葉が聞かれるようになりましたが、いきすぎた資本主義社会からつぎなる社会への過渡期のなで模索する概念ではないでしょうか。まさに当法人は、自分たちの生き方、働き方、関わり方のひとつの事例をうみだそうとしています。研究者の関わりもふえてきており、みずからの言葉を獲得する必要性を感じています。

そしてあいかわらず、非営利性の高い事業に取り組みつづけることは、運営基盤が脆弱なアートNPOには継続が難しいといえます。事業委託や助成金の獲得、低賃金のスタッフ、ボランティアの積極的な取り組み、また多くの応援ネットワークによって運営の基盤を得ることができましたが、制度作りにも着手していく必要性を感じ、今年度は積極的に政策提言の会合などに参加しました。

2008年秋の不況から社会の様相は深刻さを増しています。自殺者は3万人を超え、若者の自殺、失業による自殺も目立ってきました。そんななか、各地でアートプロジェクトが開催され、なかには行政主導のものもみられます。そうしたアートプロジェクトが分野を横断し、つなぎ、問題に関与していくかどうか、というのは、今後の課題として残されているように思います。

釜ヶ崎では失業、生活保護受給者の孤独（アルコールやギャンブル依存、孤独死）、はびこる貧困ビジネス、若年層ホームレスの流入など、問題も多様化しています。また、男性が多いためみえにくいのですが、子どもや女性の問題なども感じています。そのなかで、当法人は誰でもが立ち寄れる拠点を形成することにより、問題にであう機会が多いといえましょう。しか

し、どこまで関与できるのか、というのは、迷いながらであります。専門家との連携をとることもしていますが、素人だからこそ相談しやすいという面もあるとわかるようになりました。そのため、「慣れてはだめ」とわかるのですが、いつまでも時間をとられてばかりでいいのか、悩ましいと感じています。

アートの役割を本質的にみつめると、表現することによって、自分を発見し、「つながり」をうみだす契機となるといえましょう。公共性を高めていくためには、表現のもつ力が不可欠であると考えています。脆弱な当法人の運営基盤には課題が多いのですが、さまざまな個人や団体との協働をはじめ、運営を軌道にのせるとともに、あらたなアートの価値を構築し、社会との関わりを具体的にさぐっていきます。アートがもたらす公共性や普遍性を見だし、社会に寄与していきます。

### Ⅲ 事業の実施状況

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) 鑑賞及び発表機会提供事業

[事業名]	鑑賞及び発表機会提供事業
[内 容]	「朗読のタベ」「絵を描く会」「釜ヶ崎句会」ほか
[実施場所]	インフォショップ・カフェ ココルーム、カマン！メディアセンター
[実施日時]	年度内で随時実施
[事業の対象者]	一般市民
[収 入]	¥ 0
[支 出]	¥ 0

##### (2) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

[事業名]	交流スペース及び市民相談窓口管理事業
[内 容]	交流スペース「インフォショップ・カフェ ココルーム」を管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施した
[実施場所]	インフォショップ・カフェ ココルーム
[実施日時]	毎日12時から22時
[事業の対象者]	一般市民
[収 入]	¥ 9,408,390
[支 出]	¥ 10,809,423

##### (3) 調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

[事業名]	フリーペーパー発行及びウェブ制作事業
[内 容]	フリーペーパー「ぼえ犬通信」、「カマメ通信」発行とウェブページ「web cocoroom」を制作・管理・運営することにより、本NPOの事業内容の紹介と調査・研究内容の周知に務めた。
[実施場所]	インフォショップ・カフェ ココルーム、カマン！メディアセンター
[実施日時]	「こころのたねとして」（ココルーム文庫）再版 1000部発行 「ぼえ犬通信」23号 1万部発行 「カマメ通信」発行 「web cocoroom」随時更新

メールマガジン「ぼえ犬通信」及び「cocoroomからのお便り」は隔週発行など

[事業の対象者] 一般市民  
[収入] ¥ 0  
[支出] ¥ 90,037

(4) 事業名 人材育成、教育プログラムおよびアウトリーチ事業

[事業名] OCA!大阪コミュニティアート事業  
[内容] コミュニティアートを現場の活動を通じ調査をおこなう  
[実施場所] 大阪府内  
[実施日時] 8月～3月  
[事業の対象者] 一般市民

[事業名] ワークショップ人材派遣事業  
[内容] 「詩の学校」と題した詩のワークショップを大阪と京都でそれぞれ隔週開催など。  
[実施場所] 関西一円  
[実施日時] 4月～3月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収入] ¥ 3,560,390  
[支出] ¥ 1,959,197

[特記事項]

尚、上記の非営利事業にかかる財源として、

- 1- 助成金等収入 ¥3,000,000
- 2- 寄付金等収入 ¥1,302,292
- 3- 事業受託収入 ¥2,509,000
- 4- 会費・事業収入 ¥8,100,575

などを充当することで、管理を含め、事業展開を行った。

2. その他の事業

[事業実施方針]

アーティストやアルコール依存症の人のリハビリ作品等の販売事業、アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門事業を行うことで、その収益を特定非営利活動に係わる事業の運用資金に充てることを目的とする。

(2) 販売事業（人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業）

[事業名] 販売事業  
[内容] アーティストの作品、アルコール依存症の人のリハビリ作品等等を販売する。

[実施場所]	インフォショップ・カフェ ココルーム、カマン！メディアセンター および当法人のウェブサイトなど
[実施日時]	不定休の12時から22時
[事業の対象者]	一般市民
[収入]	¥58,660
[支出]	¥0

(3) クリエイティブ部門事業（アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業）

[事業名]	クリエイティブ部門事業
[内容]	アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門を開設し 公共機関や一般企業相手の窓口となる。
[実施場所]	大阪市西成区山王1-15-11
[実施日時]	不定休の12時から23時
[事業の対象者]	一般市民
[収入]	¥476,990
[支出]	¥673,160

#### IV 社員総会の開催状況

理事会その他の役員会の開催状況

##### 第5回定時総会

[日時]	2009年6月22日 14時から15時
[場所]	大阪市西成区山王1-15-11 インフォショップ・カフェ ココルーム
[社員総数]	24名
[出席者数]	14名(委任状提出者6名)
[内容]	第1号議案 平成20年度事業報告及び決算 第2号議案 平成21年度事業計画及び予算 すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。